



その思い込みは、  
子どもの進路に  
影響していませんか

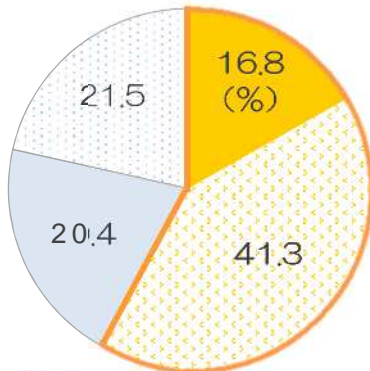
## 女性向きの仕事、男性向きの仕事ってある？

性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

保護者は約6割



児童は約4割超

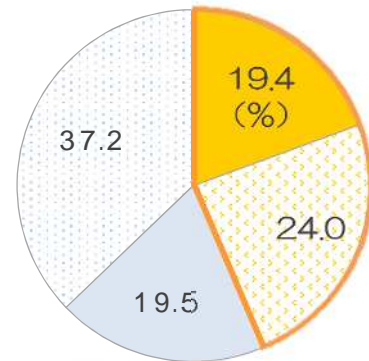


■ そう思う

□ どちらかというと思う

□ どちらかというと思わない

□ そう思わない



女性の消防士、男性の保育士など、現在は様々な分野で活躍する人が増えています。

リコチャレは、女子学生が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、内閣府が中心となって行っている取り組みです。



OECD主催の国際学力テストの数学の成績は、男女とも日本がトップクラス(平成30年)。しかし、平成31年の高等教育機関入学生のうち、理系の女子の割合は、日本は最低です。

理系が好きでも、文系を選ぶ女子が多い理由には、理系に男性のイメージがあるからではないでしょうか。「理系は男性の方ができる」「女性は文系」「理系は女性に不向きな学問」といったステレオタイプの固定観念が刷り込まれているからではないでしょうか。親のジェンダーバイアスが子どもの進路に影響を及ぼすといわれています。



6月23~29日男女共同参画週間

「無くそう思い込み、守ろう個性」

みんなでつくる、みんなの未来。」

(令和5年度キャッチフレーズ)

将来



人と違って気にしない。自分のやりたいことにチャレンジ!



読んでみませんか?

MOVE52号(4/1発行・練馬区)のテーマは「これって私のアンコン?」

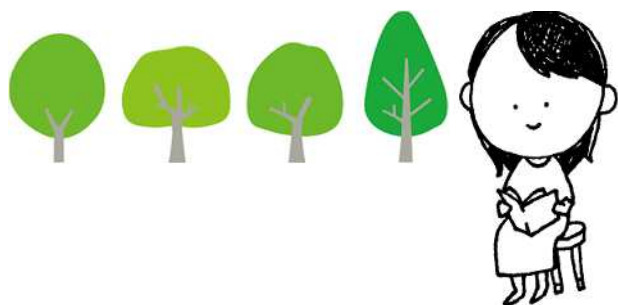
自分のアンコンに気づこう!



アンコンシャス・バイアス

無意識の思い込みのこと。過去の経験や情報、知識で形成され、誰にでもあるもの。特に性別に対して固定的な観念や思い込みは「ジェンダーバイアス」と呼ばれる。

# 新着図書



## 戦争は女の顔をしていない

小梅けいと 作画  
KADOKAWA 2023

ノーベル文学賞受賞者の原作をコミック化した4巻目。爆撃の中でパンを焼き、恋をし、戦争に翻弄される女性たち。戦争の悲劇は何度も繰り返されてきた。そして、かつて同胞であったロシアとウクライナが、今戦いの中にいるという現実を私たちは見つめなければならない。

## 主婦である私がマルクスの「資本論」を読んだら

チョン・アウン 著  
DU BOOKS 2023



仕事を辞めて、子育てに専念することにした途端「家で遊んでいる」と言われ、衝撃を受ける著者。一日中家の中の仕事をしているのになぜ？これは労働ではないの？主婦はどうして見下されるの？原因は資本主義、「お金」にあったのだと、気づくまで。

## 中絶と避妊の政治学

ティアナ・ノーグレン 著  
岩波書店 2023

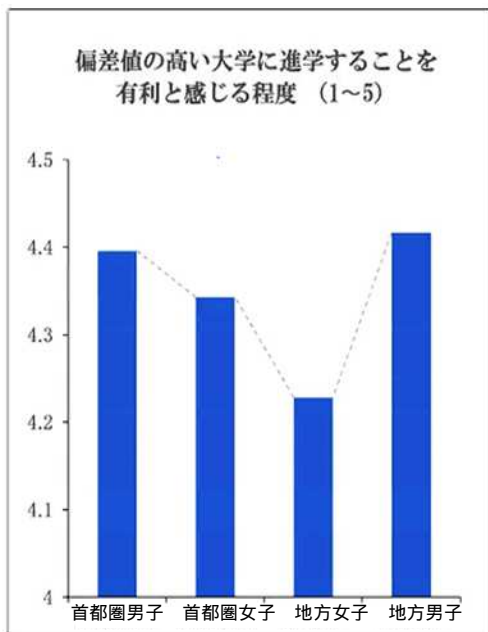


日本では昭和23年という早い年に中絶が合法化されたために、かえって避妊の普及が遅れたという。なぜ、避妊より中絶が先だったのか。医師団体と政治家の利害関係、宗教団体や女性運動家たちとの攻防など、世界的にも特異な避妊政策が生み出された政治過程を描き出す。



## 地方の女子学生が東大を目指さない理由は？

東大女子学生が偏差値の高い高校の男女学生、約3,800人に聞きました！



### 偏差値の高い大学に行くことは、自分の将来にとって有利か？

地方の女子学生は、男子学生や首都圏の女子学生ほど有利とは思っていないようです。その代わりに、浪人するより合格する可能性が高い大学や、資格取得を重視する傾向があるとのこと。

何よりも「女子は地元」という固定観念が保護者から子どもたちへと伝わり、東大など偏差値の高い大学より実家に近い大学を選んでいるといいます。

地方の女子ほど、親の意識が進路選択に大きな影響を及ぼしているようです。



参考資料：「なぜ、地方の女子学生は東京大学を目指さないのか」  
2023年度調査結果

### 私たちが記したもの

チヨ・ナムジユ著  
筑摩書房 2023

「82年生まれ、キム・ジョン」、はからずも社会に一石を投じる作品を発表した著者は、その後、様々な形の誹謗中傷にさらされ、筆を折る一歩手前まで追い込まれる。本書は、そういうものすべてを含めて「韓国社会という共同体」を書いたのだという。7つの女性たちの物語。



### 季刊セクシュアリティ

エイデル研究所 2023

人間と性をめぐる教育と文化の総合情報誌。今回の特集は「バッシングに抗して30年、性教育の未来をひらく」。2003年の七生養護学校の性教育へのバッシング。今、新たに明らかになった知見に基づき「あのバッシングは何だったのか」を解明し、日本の性教育を前進させる力とする情報を伝える。



### 障害のある子が「親なき後」も幸せに暮らせる本

鹿内幸四朗著  
大和出版 2022

自分たちが死んだ後の子どもは幸せに暮らせるだろうか。ダウン症の娘を持つ相続のプロの著者が、親権をつかって任意後見契約をする「親心後見」というアイデアでその心配を解消した自らの体験と技を伝授。18歳成人に伴った改訂新版。



### いろいろな性ってなんだろう？

渡辺大輔監修  
ポプラ社 2016

性には、心・体・好きを組み合わせた多様な性があり、誰もが等しくその中の一つである。しかし、性的少数者の人へのインタビューでは、生きやすい世の中であるとは言い難い現実を語る。いろいろな性、生き方について子どもから理解できるシリーズの導入編。



書名	著者名	発行
「自傷的自己愛」の精神分析	斎藤環	KADOKAWA
父ではありませんが	武田砂鉄	集英社
おうち性教育はじめます 思春期と家族編	フクチマミ、村瀬幸浩	KADOKAWA
毒の恋	井出智香恵	双葉社
ある行旅死亡人の物語	武田惇志	毎日新聞出版
朝のあかり	石垣りん	中央公論新社
千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがないまみルーマニア語の小説家になった話	済東鉄腸	左右社
失くした「言葉」を取り戻すまで	清水ちなみ	文芸春秋
くもをさがす	西加奈子	河出書房新社
遠い家族	前田勝	新潮社
うけいれるには	クララ・デュボン = モノ	早川書房

### 図書室利用案内

はじめてご利用の方は、名前や住所を確認できるものをお持ちの上、利用登録のお手続きをお願いいたします。貸出冊数は6冊まで、貸出期間は4週間です。本の返却期限をお守りください。また、汚損された本が多くなってきました。本を大切に扱ってくださいますようお願いいたします。

こちらから、蔵書目録や新着図書一覧がご覧いただけます。どうぞご利用ください。



# にゅーすBOX

## ひきこもり 146 万人 全国推計

内閣府は、15～64 歳でひきこもり状態にある人は、全国で 146 万人(推計)いるという調査結果を公表した。全世代の推計が明らかになるのは初。約 5 人に 1 人は「新型コロナウイルスの流行」を理由に挙げており、コロナ禍の影響も色濃く反映されている。146 万人のうち、男性が約 6 割を占めているが、中高年(40～64 歳)では、女性が 52.3%で半数を超えた。これまでひきこもりとみなされていなかった女性たちの存在が可視化されたと指摘されている。

## 41 道府県議選 女性当選者過去最多

4 月 9 日に投開票された 41 道府県議選で、女性の当選者は 316 人。定数に占める割合は、14.0%といずれも過去最多を更新。しかし、女性が当選する率は男性の 73.4%に対し、64.6%と低く、女性が議員になる難しさも浮き彫りになった。

## 返還不要の国の奨学金 年収上限を拡充

大学生や専門学校生らを対象とした返還不要の国の奨学金が、令和 6 年度から拡充される。対象世帯の年収上限を現行の 380 万円から 600 万円に広げる。年収 380 万円未満の世帯は、現行を維持。対象は、子ども 3 人以上の多子世帯と私立の理工農系学部の学生。

## 改正刑事訴訟法成立

改正刑事訴訟法が成立した。性犯罪被害者の保護を図るため、起訴状をはじめ、刑事手続き全般で被害者の氏名や住所を匿名化できるようになる。匿名化の対象になるのは他に、ストーカー事件や組織犯罪が想定されている。

## 梅毒患者 都内過去最多

性感染症の「梅毒」が全国的に増加傾向で、5 月 14 日時点で 5,164 人と報告されている。都内の患者数は 21 日時点で 1,422 人に達し、過去最多のペースで増加中。典型的な初期症状は、性器や口内のしこりだが、痛みを伴わないため気づかない人も多い。「今は、治療薬があるので、不安があればすぐ検査してほしい」と医師たちは呼び掛けている。

## 練馬区 LGBT パネル展

練馬区は、6 月 7 日から 13 日正午まで、各地で LGBT の権利を啓発する活動が行われる 6 月のプライド月間に合わせ、LGBT への理解促進を目的に東京学芸大学附属国際中等教育学校と協力し、練馬区役所の 1 階アトリウムで「マンガで高校生と一緒に考える LGBT パネル展」を開催。「性的指向について家族が差別的な発言をした」「トランスジェンダーであることを先生にカミングアウトした」という 2 つを題材にしたマンガの続きを高校生が考え、自身の意見を表現した作品を展示したもの。

## 男性育休取得 26%

令和 4 年 9 月に行った都の調査で、都内企業の育児休業取得率が男性 26.2%、女性 94.1%と、男性は前年度から 2.4 ポイント上昇して過去最高となったが、男女間の差は依然大きい。育休の取得期間は、男性は「1～3 か月未満」が 38.3%と最多、女性は「6 か月～1 年未満(31.5%)」「1 年(26.6%)」の順で、男性の取得期間の短さが目立つ。

## 「東京の子供と家庭」調査結果

都は、子育て状況や生活実態を調べる令和 4 年度の基礎調査「東京の子供と家庭」の結果を公表した。家事や育児について、母の 71.5%は「配偶者にもっとやってほしい」、父の 63.2%が「もっとやりたい」と回答しているが、「どうすればもっと参加できるか」を尋ねると勤務時間の短縮が 61.4%で最も多かった。母側に同じ質問をすると「配偶者自身の意識が変われば」との回答が 52.0%で最高だった。

## 不適切保育 914 件

こども家庭庁は、園児への暴行が発覚するなど不適切保育が社会的な問題となったことを受け、全国の自治体と施設を対象にした初の実態調査の結果を公表した。昨年 4 月～12 月の保育所での不適切保育は 914 件、虐待と確認されたのは 90 件に上った。

## 女性役員 最低 1 人登用

政府は、東証プライム市場に上場する企業に、令和 7 年を目途に女性役員を少なくとも 1 人登用するよう促す目標を設け、罰則のない努力義務とする想定だ。女性活躍・男女共同参画の重点方針に盛り込む予定。

## 「特定妊婦」8000 人超

生まれて間もない乳児が遺棄される事件が相次いでいる。予期しない妊娠や貧困などの問題を抱える妊婦は「特定妊婦」として、家庭訪問や支援の対象となる。令和 2 年度の厚生労働省の調査で把握された特定妊婦は 8,300 人だった。追い詰められた女性に支援が行き届くよう支援体制の強化が必要と指摘されている。

## 不妊症 6 人にひとり WHO 報告

世界保健機関(WHO)は、世界の成人の 6 人に 1 人(約 17.5%)が不妊を経験しているとする報告書を公表した。割合に地域差はなく、所得による差もほとんどなく、「世界的な健康問題」と指摘。不妊治療を必要とする人々が、安価で質の高い治療を受けられるようにすることが急務だと指摘している。報告書は、平成 2～令和 3 年の関連研究を分析し、得られた結果から不妊の割合などを推定した。